

業績一覽

(2023年)

〈著 書〉

共 著

清水涼子 『標準テキスト 会計専門職の職業倫理』（会計大学院「職業倫理」研究会による共著），同文館出版，2023年9月，第9-11章（165-218頁）。

清水涼子・北波道子・三島徹也・Ron Singleton・T. Nakamura 『カジノ・ゲーミング事業をめぐるガバナンスの研究』，関西大学出版部，2023年10月，まえがき・第3章（105～162頁）・第4章（翻訳）・あとがき。

三島徹也 清水涼子・北波道子・三島徹也・Ron Singleton・T. Nakamura 『カジノ・ゲーミング事業をめぐるガバナンスの研究』，関西大学出版部，2023年10月，第2章（49～103頁）。

編 著

柴 健次 佐藤信彦・河崎照行・齋藤真哉・柴健次・高須教夫・松本敏史編『スタンダード財務会計論第16版 I 基本論点編』中央経済社，2023年4月，1-546頁。

佐藤信彦・河崎照行・齋藤真哉・柴健次・高須教夫・松本敏史編『スタンダード財務会計論第16版 II 応用論点編』中央経済社，2023年4月，1-562頁。

分 担

柴 健次 柴健次・弥永真生「第1章 ディスクロージャー」『ビジネス会計検定試験公式テキスト1級 第3版』大阪商工会議所編，中央経済社，2023年4月，1～34頁。

〈論 文〉

単 著

柴 健次 「政府・非営利法人会計を教授する上での教育上の一試論」『会計教育研究』第11号，2023年6月，36-43頁。

中村繁隆 ‘Cross-border Corporate Reorganizations and Non-discrimination Clauses: Focusing on Two Protocols in Japanese Tax Treaties’, *Journal of Accountancy, Economics and Law*, No.17, March 2023, School of Accountancy, Graduate School of Kansai University, OSAKA, JAPAN, pp.1-12.

「組織再編成から生じるクロス・ボーダーの課税問題——租税条約上の組織再編成条項を題材に——」『経営実務法研究』第25号, 日本経営実務法学会, 2023年3月, 77-93頁。

共 著

- 大 西 靖 横田絵理・乙政佐吉・坂口順也・河合隆治・大西靖・妹尾剛好・鬼塚雄大
「国際学術会計雑誌の潮流からみたわが国マネジメント・コントロール研究の特徴」『管理会計学』第31巻第1号, 2023年3月, 71-88頁。
大西靖・岡田華奈「ESG評価のための情報開示の展開」中尾悠利子・石野亜耶・國部克彦編『AIによるESG評価:モデル構築と情報開示分析』同文館, 2023年9月, 137-156頁。
- 柴 健 次 柴健次・天川竜治「予算準拠型の公会計としての宇城市モデル」『公共経営とアカウントビリティ』第3巻第1号, 2022年12月, 4-26頁。(前号に掲載漏れ)
- 松 本 祥 尚 町田祥弘・松本祥尚「監査上の主要な検討事項(KAM)の利用及び改善に関する研究」『ワーキング・ペーパー』(青山学院大学会計プロフェッション研究科)第2022-1号, 2023年2月, 1~30頁。
松本祥尚・町田祥弘「監査上の主要な検討事項(KAM)の情報価値」『週刊経営財務』第3598号, 2023年3月, 20~25頁。
町田祥弘・松本祥尚・林隆敏・佐久間義浩・高田知実・堀古秀徳「日本企業の監査報酬の動向(2023年版)」『月刊監査役』第749号, 2023年5月, 40~57頁。

〈報 告〉

学会報告(単独)

- 松 本 祥 尚 日本監査研究学会第46回全国大会「サステナビリティ情報と会計・保証・ガバナンスの展開」課題別研究部会最終報告(小西範幸部会長)(於、専修大学)2023年9月9日。
日本監査研究学会第46回全国大会「公認会計士の省察と革新」課題別研究部会中間報告(弥永真生部会長)(於、専修大学)2023年9月9日。
日本監査研究学会第46回全国大会統一論題「わが国会計専門職の現状と将来展望——公認会計士と税理士に相克はあるのか——」報告「保証業務の視点から見た公認会計士と税理士」(於、専修大学)2023年9月9日。
- 宗 岡 徹 「企業のディスクロージャー情報に対する学生の反応」日本経済会計学会第40回年次大会, 愛知学院大学, 2023年6月。

学会報告（共同）

大西 靖 横田絵理・乙政佐吉・坂口順也・河合隆治・大西靖・妹尾剛好・鬼塚雄大
「多様化するマネジメント・コントロールの現状整理と展望」日本管理
会計学会2022年度年次全国大会，明治大学，スタディグループ最終報
告，2022年8月30日。

柴 健次 松本敏史・柴健次「公会計教育の必要性」政府会計学会関東部会，早稲田
大学，2023年5月6日。

柴健次他，テーマ別研究会報告「大学等学校法人研究会最終報告」（座長柴
健次）非営利法人研究学会第27回全国大会，大阪商業大学，2023年9
月27日。

講演等

柴 健次 「公会計の現在」関西大学経済・政治研究所産業セミナー，関西大学梅田キ
ャンパス，2023年7月15日。

〈その他〉

判例研究

中村 繁隆 「過大役員給与における実質基準の適用上の問題～東京地裁令和5年3月
23日判決～」WLJ判例コラム第304号（2023WLJCC026），2023年12月
18日。

柴 健次 「論壇「統合経営」研究にむけて」『公益・一般法人』1067号，2023年3月
15日。

「大阪経済の未来は商業教育に依存する」『創立60周年記念によせて』大阪
簿記会計学協会。

コーディネーター，第21回青山学院大会計サミット「新しい公会計と会
計プロフェッション」青山学院大学，2023年7月19日。

モデレーター，公会計改革推進シンポジウム「自治体における資本計画の
課題——自治体におけるサービス提供の持続可能性の基本的課題とは
——」早稲田大学パブリックサービス研究所，2023年8月22日。

